

国土数值情報（漁港）

製品仕様書

第 4.0 版

平成 26 年 3 月

国土交通省国土政策局

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 2.0 版	2006 年 8 月	地理情報標準プロファイル (JPGIS) ver.1.0 準拠
第 3.0 版	2010 年 3 月	地理情報標準プロファイル (JPGIS) のバージョンアップに伴う改訂
第 3.1 版	2011 年 3 月	GML 形式への変換作業に伴い、全体の見直しを実施
第 4.0 版	2014 年 3 月	統一フォーマット形式の変換作業に伴い、見直しを実施

目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	2
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	2
1.7 参考資料.....	2
2 適用範囲.....	3
2.1 適用範囲識別.....	3
2.2 階層レベル.....	3
3 データ製品識別.....	3
3.1 製品仕様識別.....	3
4 データ内容および構造.....	4
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	4
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	4
4.1.2 沿岸域パッケージ.....	5
4.1.3 漁港パッケージ.....	6
4.1.4 共通パッケージ.....	12
4.2 空間スキーマプロファイル.....	12
4.3 時間スキーマプロファイル.....	12
5 参照系.....	12
5.1 座標参照系.....	12
5.2 時間参照系.....	12
6 データ品質.....	13
7 データ製品配布.....	22
7.1 配布書式情報.....	22
7.2 配布媒体情報.....	22
8 メタデータ.....	23

付属資料

- 1 符号化仕様作成のためのタグ一覧
- 2 符号化仕様

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（漁港）製品仕様書 第 4.0 版
- 日付：2014 年 3 月 14 日
- 作成者：国土交通省 国土政策局 国土情報課
- 言語：日本語
- 分野：運輸，陸水
- 文書書式：PDF

1.2 目的

国土数値情報は，国土形成計画，国土利用計画などの国土計画の策定や実施の支援のために作られたものであるが，各分野で広く利用されることも想定している。

本データは，漁港漁場整備法に基づく漁港について，位置（点），漁港名，漁港種別，管理者区分（都道府県，市町村等），関係漁業共同組合，外郭施設・係留施設の各延長等を整備したものである。また，漁港の区域について，境界（線）等も整備している。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲
日本全国
- 時間範囲
昭和 59 年（作成時点：平成 13 年 6 月末）

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 平成 21 年 5 月

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版「附属書 5 (規定) 定義」
- 国土交通省国土計画局 GIS ホームページ ガイダンス
URL : <http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/gis/guidance/index.html>

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL : <http://nftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（漁港）製品仕様書第 4.0 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

■ 空間データ製品の名称

国土数値情報（漁港）データ

■ 日付

2014 年 3 月 14 日

■ 問合せ先

国土交通省 国土政策局 国土情報課

電話：03-5253-8111 FAX：03-5253-1569

Email：nsdijp@mlit.go.jp

■ 地理記述

全国

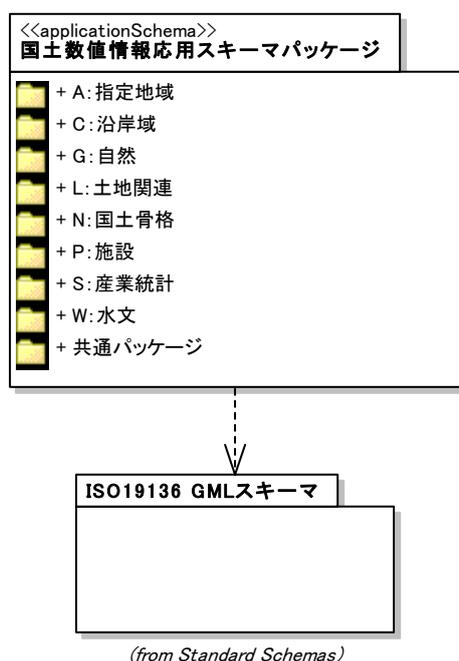
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報を分類したパッケージと、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 沿岸域パッケージ

このパッケージは、沿岸域に関するパッケージをまとめたものである。

<<applicationSchema>> C01: 潮汐・海洋施設	<<applicationSchema>> C04: 沿岸海域メッシュ	<<applicationSchema>> C05-a: 波向メッシュ	<<applicationSchema>> C05-b: 海霧メッシュ	<<applicationSchema>> C05-c: 自然漁場メッシュ
<<applicationSchema>> C07: 海岸施設・感潮限界	<<applicationSchema>> C08: 高潮・津波テーブル	<<applicationSchema>> C09: 漁港	<<applicationSchema>> C10: 増養殖施設	<<applicationSchema>> C11: 漁礁
<<applicationSchema>> C12: 海底敷設線・架空線	<<applicationSchema>> C13: 架橋	<<applicationSchema>> C14: 環境基準類型あてはめ水域	<<applicationSchema>> C15: 生活環境項目	
<<applicationSchema>> C20: 航路	<<applicationSchema>> C21: 漁業権設定区域	<<applicationSchema>> C22: 鉱区	<<applicationSchema>> C25: 海水浴台帳	<<applicationSchema>> C26: 埋立・干拓区域
<<applicationSchema>> C27: 埋立・干拓区域台帳	<<applicationSchema>> C30: 砂利採取場	<<applicationSchema>> C31: 自然公園区域	<<applicationSchema>> C32: 国土保全関連区域	<<applicationSchema>> C33: 保護水面
<<applicationSchema>> C34: 低地地形分類	<<applicationSchema>> C35: 地盤沈下地域	<<applicationSchema>> C36: 感潮限界	<<applicationSchema>> C37: 地下水採取規制地域	
<<applicationSchema>> C38: 瀬戸内海環境保全特別措置法第五条第一項の地域界		<<applicationSchema>> C39: 環境基準類型指定水域(河川域)		
<<applicationSchema>> C40: 環境基準類型指定水域(河川域)台帳	<<applicationSchema>> C41: 環境基準類型指定水域(湖沼域)	<<applicationSchema>> C42: 環境基準類型指定水域(湖沼域)台帳		
<<applicationSchema>> C43: 大気汚染・水質汚濁総量規制地域界	<<applicationSchema>> C44: 大気汚染・水質汚濁総量規制地域台帳	<<applicationSchema>> C45: 海岸利用施設		
<<applicationSchema>> C46: 映潮場	<<applicationSchema>> C47: 河川区域台帳	<<applicationSchema>> C48: 保安林区域台帳		

4.1.3 漁港パッケージ

このパッケージは、漁港に関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図



4.1.3.2 応用スキーマ文書

漁港

漁港漁場整備法に基づく漁港で、天然又は人工の漁業根拠地となる水域及び陸域並びに施設。

原典資料を次に示す。

漁港データ（海上保安庁），漁港一覧（水産庁），漁港区域図（各都道府県），漁港のパンフレット等（各都道府県），漁港の管内図（各都道府県）

上位クラス：

抽象/具象区分：具象

属性

地点[0..1]：GM_Point

漁港の位置。

漁港コード：Integer

漁港を特定するためのコード。

都道府県コード(2桁)に漁港の種類(1桁)，都道府県内で一意となるよう付された号(4桁)からなる。

県コード(2桁)+漁港の種類(1桁)+都道府県内の番号(4桁)

漁港名：CharacterString

漁港の名称。

行政区域コード[1..*]：行政コード

都道府県コードと市区町村コードからなる，行政区を特定するためのコード。

JIS規格（JIS X 0401，JIS X 0402）に準拠する。

■ 定義域

JIS規格が定める5桁のコード値。

種別：漁港種別コード

漁港漁場整備法第5条及び第19条の3に示す漁港の種別を特定するためのコード。

- ・ 第1種漁港

その利用範囲が地元の漁業を主とするもの。

- 第2種漁港

その利用範囲が第1種漁港よりも広く、第3種漁港に属しないもの。

- 第3種漁港

その利用範囲が全国的なもの。

- 第4種漁港

離島その他辺地にあつて漁場の開発又は漁船の避難上特に必要なもの。

- 特定第3種漁港

第3種漁港のうち水産業の振興上特に重要な漁港。

■ 定義域

「漁港種別コード」がとりうる値。

コード	対応する内容	定義
0	不明	
1	第1種	第1種漁港：その利用範囲が地元の漁業を主とするもの
2	第2種	第2種漁港：その利用範囲が第1種漁港よりも広く、第3種漁港に属しないもの
3	第3種	第3種漁港：その利用範囲が全国的なもの
4	第4種	第4種漁港：離島その他辺地にあつて漁場の開発又は漁船の非難上特に必要なもの
5	特定第3種	特定第3種漁港：第3種漁港のうち水産業の振興上特に重要な漁港

管理者区分：漁港管理者区分コード

漁港の管理者を区分するためのコード。

(都道府県・市区町村・その他)

■ 定義域

「漁港管理者区分コード」がとりうる値。

コード	対応する内容
0	不明
1	都道府県
2	市区町村
3	その他

管理者名[0..1]：CharacterString

当該漁港の管理者の名称。

指定年月日：TM_Instant

当該漁港の指定年月日。

■ 定義域

西暦で、4桁の「年」、2桁の「月」及び「日」を記す。

関係漁業協同組合[0..1] : **CharacterString**

当該漁港に係る漁業組合の名称。

外郭施設延長 : **Integer**

普通交付税に関する省令第5条第1項に定める漁港における外郭施設の延長。

単位は「m」とする。

(防波堤・防砂堤・防潮堤・導流堤・水門・閘門・護岸・堤防・突堤・胸壁)

係留施設延長[0..1] : **Integer**

普通交付税に関する省令第5条第1項に定める漁港における係留施設の延長。

単位は「m」とする。

(岸壁・物揚場・係船浮標・係船くい・栈橋・浮栈橋・船揚場)

係船施設延長[0..1] : **Integer**

係船岸壁の延長。

昭和53年[0..1] : 統計データ

昭和53年の統計データ。

昭和54年[0..1] : 統計データ

昭和54年の統計データ。

昭和55年[0..1] : 統計データ

昭和55年の統計データ。

昭和56年[0..1] : 統計データ

昭和56年の統計データ。

昭和57年[0..1] : 統計データ

昭和57年の統計データ。

昭和58年[0..1] : 統計データ

昭和 58 年の統計データ。

昭和 59 年[0..1] : 統計データ

昭和 59 年の統計データ。

昭和 60 年[0..1] : 統計データ

昭和 60 年の統計データ。

昭和 61 年[0..1] : 統計データ

昭和 61 年の統計データ。

昭和 62 年[0..1] : 統計データ

昭和 62 年の統計データ。

統計データ

抽象/具象区分 : 具象

属性

データ年 : TM_Instant

登録漁船隻数 : Integer

登録されている漁船の数。単位=隻。

水揚げ高 : Integer

水揚げ高。単位=百万円。

漁業地区人口 : Integer

漁業地区の人口。単位=人。

漁港区域界

漁港漁場整備法に基づく漁港の示す区域。

原典資料を次に示す。

漁港データ（海上保安庁），漁港一覧（水産庁），漁港区域図（各都道府県），漁港のパンフレット等（各都道府県），漁港の管内図（各都道府県）

上位クラス：

抽象/具象区分：具象

属性

場所：GM_Curve

漁港区域の位置。

都道府県コード：都道府県コード

都道府県を一意に識別するためのコード。

JIS規格（JIS X 0401）に準拠する。

■ 定義域

01～47

漁港番号：Integer

漁港を特定するためのコード。

都道府県コード(2桁)に漁港の種類(1桁)，都道府県内で一意となるよう付された番号(4桁)からなる。

県コード(2桁)+漁港の種類(1桁)+都道府県内の番号(4桁)

4.1.4 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめたものである。

コードリスト等については、本製品仕様書「1.7 参考資料」の参照先を参照。

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第2.1版 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第2.1版 時間スキーマ」を採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子 : JGD2000 / (B, L), TD / (B, L)

5.2 時間参照系

参照系識別子 : GC / JST

6 データ品質

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	漁港
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合内に存在する過剰なデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。</p> <p>次の場合エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応関係がとれない地物がデータ集合内に存在する場合。 ・データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合。本体を除き、重複している余分なデータの個数をすべてエラーとして数える。 <p>誤率 (%) = (過剰なデータ数 / 参照データに含まれるデータの総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参照データは、監督員が指定する資料（漁港管理者の資料、一般販売書籍、またはこれらを用い作成した資料等）とする。 ・地物型の識別ができるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ・データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <p>誤率=0% であれば“合格” 誤率>0% であれば“不合格”</p>
適合品質水準	過剰なデータの割合：0%
データ品質適用範囲	漁港区域界
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合内に存在する過剰なデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。</p> <p>次の場合エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応関係がとれない地物がデータ集合内に存在する場合。 ・データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合。本体を除き、重複している余分なデータの個数をすべてエラーとして数える。 <p>誤率 (%) = (過剰なデータ数 / 参照データに含まれるデータの総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参照データは、監督員が指定する資料（例：漁港区域図、またはこれを用い作成した資料）とする。 ・地物型の識別ができるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ・データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。

	誤率=0% であれば“合格” 誤率>0% であれば“不合格”
適合品質水準	過剰なデータの割合：0%

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	漁港
データ品質評価尺度	データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合から漏れているデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。 次の場合エラーとする。 ・参照データと対応すべき地物インスタンスが、データ集合内に存在しない場合。 誤率 (%) = (漏れのデータ数/参照データに含まれるデータの総数) ×100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 ・参照データは、監督員が指定する資料（漁港管理者の資料、一般販売書籍、またはこれらを用い作成した資料等）とする。 ・地物型の識別ができるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ・データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 誤率=0% であれば“合格” 誤率>0% であれば“不合格”
適合品質水準	データの漏れの割合：0%
データ品質適用範囲	漁港区域界
データ品質評価尺度	データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合から漏れているデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。 次の場合エラーとする。 ・参照データと対応すべき地物インスタンスが、データ集合内に存在しない場合。 誤率 (%) = (漏れのデータ数/参照データに含まれるデータの総数) ×100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 ・参照データは、監督員が指定する資料（例：漁港区域図、またはこれを用い作成した資料）とする。 ・地物型の識別ができるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ・データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 誤率=0% であれば“合格” 誤率>0% であれば“不合格”

適合品質水準	データの漏れの割合：0%
--------	--------------

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式（フォーマット）が、整形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）の割合（誤率）を計算する。データ集合は、整形式の XML 文書（Well-Formed XML）でなければならない。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 データ集合のファイルの書式がXML の文法（構造）に適合しているか、検査プログラムによって評価する。 一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	XML 文書の構文のエラーの割合：0%

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>符号化仕様が規定するXML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合（誤率）を計算する。データ集合は、妥当なXML 文書（Valid XML document）でなければならない。</p> <p>XML スキーマに対するXML 文書の妥当性の検査に加え、次の項目についても検査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地物に関する検査項目 <p>地物インスタンスの型（地物型）が、応用スキーマが規定する地物型と合致しない場合エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 空間スキーマプロファイルに関する検査項目 <p>データ集合内のどの地物インスタンスからも参照されない幾何要素が存在する場合、エラーとする。</p> <p>各クラス単位に検査項目を示す。</p> <p>[GM_Curve]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ orientation の値が+でない場合、エラーとする。 ・ primitive で参照するオブジェクトが自身でない場合、エラーとする。 <p>[GM_OrientableCurve]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ orientation の値が-でない場合、エラーとする。 ・ primitive で参照するオブジェクトの形がGM_Curve でない場合、エラーとする。 <p>[GM_LineString]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ controlPoint の数が2 点未満の場合、エラーとする。 ・ GM_LineString の始点及び終点がindirect によって参照されていない場合、エラ

	<p>一とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> GM_LineString の始点及び終点以外の点がdirect によって参照されていない場合、エラーとする。 <p>[GM_PointRef]</p> <ul style="list-style-type: none"> point 要素の参照先のオブジェクトがGM_Point 以外である場合エラーとする。 <p>[DirectPosition]</p> <ul style="list-style-type: none"> dimension の値が2 以外である場合エラーとする。 coordinate に記録される数値の個数がdimension の値と異なる場合エラーとする。 coordinate に記録される数値のセパレータが空白文字以外の場合エラーとする。
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>応用スキーマを表現するXML スキーマとデータ集合に矛盾がないか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。</p>
適合品質水準	<p>符号化仕様の XML スキーマに対する矛盾の割合：0%</p>

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>地物属性インスタンスの値が、応用スキーマに規定される定義域の範囲に含まれていない場合、その個数をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。</p> <p>以下の場合エラーとする</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間属性及び時間属性が適用範囲内に含まれない場合。 コードリストで表わされる主題属性の値が、定義されたコードリストの値に含まれない場合。 <p>誤率 (%) = (定義域外の値をもつ地物属性の数 / データ集合内の地物属性の総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>属性の値が、主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。</p>
適合品質水準	<p>地物属性の定義域一貫性のエラーの割合：0%</p>

品質要素	論理一貫性・位相一貫性
データ品質適用範囲	漁港
データ品質評価尺度	<p>・データ集合内の漁港が、該当する漁港区域界と国土数値情報（海岸線）に囲まれる範囲内に存在しない場合、その個数をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。</p> <p>誤率 (%) = (範囲内に存在しない地物の数 / データ集合内の地物の総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。</p>
適合品質水準	位相一貫性のエラーの割合：0%
データ品質適用範囲	漁港区域界
データ品質評価尺度	<p>XML 文書として記録されるデータ集合がもつ位相属性及び位相を含む幾何属性の一貫性を検査し、エラーの割合（誤率）を計算する。</p> <p>誤率 (%) = (位相一貫性のエラーの数 / 検査対象となるアイテムの総数) × 100</p> <p>■空間スキーマプロファイルに対する検査項目</p> <p>[GM_Curve]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・segment を構成する各線分の終点が次の始点と一致しない場合、これをエラーとする。但し、最後の線分は除く。 ・GM_Curve の始点及び終点以外で自己交差又は自己接触する点をもつ場合、エラーとする。 <p>[GM_LineString]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 点又は3 点のcontrolPoint で構成されるGM_LineString の始点と終点と同じ GM_Point を参照する場合、エラーとする。 ・GM_LineString が自己交差若しくは始点及び終点以外で自己接触する点をもつ場合、エラーとする。
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>位置の関係の一貫性が保たれているか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。</p>
適合品質水準	位相一貫性のエラーの割合：0%
データ品質適用範囲	漁港区域界
データ品質評価尺度	<p>・データ集合内の漁港区域界の両端が、国土数値情報（海岸線）と接していない場合、その個数をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。</p> <p>・データ集合内の地物が、国土数値情報（港湾）の港湾区域界と交差している場合、その個数をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。ただし、参照データにもともと交差がある場合は検査対象としない。</p> <p>誤率 (%) = (他地物と交差する地物の数 / データ集合内の地物の総数) × 100 もしくは (海岸線に接していない地物の数 / データ集合内の地物の総数) × 100</p>

データ品質評価手法	全数検査を実施する。 検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	位相一貫性のエラーの割合：0%

品質要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	漁港区域界
データ品質評価尺度	データ集合の位置の座標と、参照データの座標との誤差の標準偏差を計算する（誤差の母平均は、0 とする。）。 標準偏差 = $\sqrt{((1/n-1)\sum((xi-Xi)^2+(yi-Yi)^2))}$ xi：データ集合内の検査対象のデータの位置のX 座標 yi：データ集合内の検査対象のデータの位置のY 座標 Xi：参照データの位置のX 座標 Yi：参照データの位置のY 座標 n：サンプル数
データ品質評価手法	<p>抜取検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参照データは、監督員が指定する資料（例：漁港区域図（またはこれを用いた入力基図））とする。 既成図の図郭四隅の残存誤差を計測する。 図郭四隅の残存誤差が0.2mm 以内であれば、以降の手順に従い、地物の空間属性の誤差の標準偏差を計測する。 地物数の2%の検査単位を抽出する。抜取検査の検査単位の分割方法は、監督員と協議する。 抽出した位置の図上の座標と参照データの座標との誤差を測定する。 データ品質評価尺度に基づき、検査対象の座標全ての誤差の標準偏差を計算する。 計算した標準偏差と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 “適合品質水準\geq計算した標準偏差”であれば“合格” “適合品質水準$<$計算した標準偏差”であれば“不合格”
適合品質水準	図上の水平位置の標準偏差：0.3mm

品質要素	時間正確度・時間測定正確度
データ品質適用範囲	漁港
データ品質評価尺度	<p>以下の地物属性の時間と、参照データの時間との誤差の標準偏差を計算する。誤差は、日単位として算出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地物属性"指定年月日" <p>標準偏差 = $\sqrt{((1/n)\sum((ti-Ti)^2))}$</p>

	<p>ti : 地物属性の時間</p> <p>Ti : 参照データの時間</p> <p>n : 時間属性の全数</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参照データは、監督員が指定する資料（漁港管理者の資料、一般販売書籍、またはこれらを用い作成した資料等）とする。 地物属性の値が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 データ品質評価尺度に基づき、サンプル（データ集合内の検査対象の時間すべて）の誤差の標準偏差を計算する。 計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <p>“適合品質水準 \geq 計算した標準偏差”であれば“合格”</p> <p>“適合品質水準 $<$ 計算した標準偏差”であれば“不合格”</p>
適合品質水準	時間の標準偏差 : 0 日

品質要素	主題正確度・分類の正しさ
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データとの比較を行い、地物型（漁港、漁港区域界）が正しく特定されていないデータ数を数え、その割合（誤率）を計算する。</p> <p>誤率 (%) = (地物型が正しく特定されていないデータ数 / 参照データに含まれるデータ総数) $\times 100$</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参照データは、監督員が指定する資料（漁港管理者の資料、一般販売書籍、またはこれらを用い作成した資料等）とする。 地物型が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <p>“適合品質水準 \geq 誤率”であれば“合格”</p> <p>“適合品質水準 $<$ 誤率”であれば“不合格”</p>
適合品質水準	地物型の分類のエラーの割合 : 0%

品質要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	漁港
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、データ集合内に存在する誤った地物属性インスタンス（エラー）の割合（誤率）を計算する。</p> <p>次の場合、エラーとする。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・地物属性"漁港コード"の内容が正しくない場合。 ・地物属性"漁港名"の内容が正しくない場合。 ・地物属性"行政区域コード"の内容が正しくない場合。 ・地物属性"種別"の内容が正しくない場合。 ・地物属性"管理者区分"の内容が正しくない場合。 ・地物属性"管理者名"の内容が正しくない場合。 ・地物属性"関係漁業協同組合"の内容が正しくない場合。 <p>誤率 (%) = (地物属性のエラー数 / 検査した地物属性の総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参照データは、監督員が指定する資料（漁港管理者の資料、一般販売書籍、またはこれらを用い作成した資料等）とする。 ・地物属性の値が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ・データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <p>“適合品質水準 ≥ 誤率”であれば“合格” “適合品質水準 < 誤率”であれば“不合格”</p>
適合品質水準	非定量的な主題属性のエラーの割合：0%
データ品質適用範囲	漁港区域界
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、データ集合内に存在する誤った地物属性インスタンス（エラー）の割合（誤率）を計算する。</p> <p>次の場合、エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地物属性"都道府県コード"の内容が正しくない場合。 ・地物属性"漁港コード"の内容が正しくない場合。 <p>誤率 (%) = (地物属性のエラー数 / 検査した地物属性の総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参照データは、監督員が指定する資料（漁港管理者の資料、一般販売書籍、またはこれらを用い作成した資料等）とする。 ・地物属性の値が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ・データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <p>“適合品質水準 ≥ 誤率”であれば“合格” “適合品質水準 < 誤率”であれば“不合格”</p>
適合品質水準	非定量的な主題属性のエラーの割合：0%

品質要素	主題正確度・定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	漁港
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、データ集合内に存在する誤った地物属性インスタンス（エラー）の割合（誤率）を計算する。</p> <p>次の場合、エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地物属性"外郭施設延長"の値が一致しない場合。 ・地物属性"係留施設延長"の値が一致しない場合。 <p>誤率 (%) = (地物属性のエラー数 / 検査した地物属性の総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参照データは、監督員が指定する資料（漁港管理者の資料、一般販売書籍、またはこれらを用い作成した資料等）とする。 ・地物属性の値が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ・データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <p>“適合品質水準 ≥ 誤率”であれば“合格” “適合品質水準 < 誤率”であれば“不合格”</p>
適合品質水準	定量的な主題属性のエラーの割合：0%

7 データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/

国土数値情報 (漁港) 応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、XMLSchema については付属資料を参照のこと。

名前空間 : <http://nftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞 : ksj

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語を使用する。

7.2 配布媒体情報

■ 単位

全国

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL : <http://nftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

8 メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、**JMP2.0**を採用する。

国土数值情報（漁港）製品仕様書 第 4.0 版

付属資料

1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
沿岸域					
C09: 漁港					
	漁港			FishingPort	fishing port
		地点	GM_Point	position	position
		漁港コード	Integer	fishingPortCode	fishing port code
		漁港名	CharacterString	fishingPortName	fishing port name
		行政区域コード	行政コード	administrativeAreaCode	administrative area code
		種別	漁港種別コード	type	type
		管理者区分	漁港管理者区分コード	administratorType	administrator type
		管理者名	CharacterString	administratorName	administrator name
		指定年月日	TM_Instant	designatedDate	designated date
		関係漁業共同組合	CharacterString	fisheriesCooperativeAssociations	fisheries cooperative associations
		外郭施設延長	Integer	boundaryLengthOfOutlyingFacility	boundary length of outlying facility
		係留施設延長	Integer	mooringPierLength	mooring pier length
		係船岸壁延長	Integer	mooringQuayLength	mooringQuayLength
		昭和 53 年	統計データ	s53	syowa 53
		昭和 54 年	統計データ	s54	syowa 54
		昭和 55 年	統計データ	s55	syowa 55

		クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
			昭和 56 年	統計データ	s56	syowa 56
			昭和 57 年	統計データ	s57	syowa 57
			昭和 58 年	統計データ	s58	syowa 58
			昭和 59 年	統計データ	s59	syowa 59
			昭和 60 年	統計データ	s60	syowa 60
			昭和 61 年	統計データ	s61	syowa 61
			昭和 62 年	統計データ	s62	syowa 62
		統計データ			StatisticsData	statistics data
			データ年	TM_Instant	dateData	date data
			登録漁船隻数	Integer	numberOfRegisterShip	number of Register Ship
			水揚高	Integer	gainings	gainings
			漁業地区人口	Integer	populationOfFishingPort	population Of Fishing Port
		漁港区境界			FishingPortBoundary	fishing port boundary
			場所	GM_Curve	location	location
			都道府県コード	都道府県コード	prefectureCode	prefecture code
			漁港コード	Integer	fishingPortCode	fishing port code

2 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2" xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app" elementFormDefault="qualified"
version="1.0">
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/gml.x
sd"/>
  <xsd:include schemaLocation="Ksj_Common.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="FishingPort" type="ksj:FishingPortType"
substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
  <xsd:complexType name="FishingPortType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>漁港</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
      <xsd:extension base="gml:AbstractFeature">
        <xsd:sequence>
```

```

<xsd:element name="position" type="gml:PointPropertyType" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>地点</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="fishingPortCode" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>漁港コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="fishingPortName" type="xsd:string">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>漁港名</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="administrativeAreaCode" type="gml:CodeType"
maxOccurs="unbounded">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>行政区域コード</xsd:documentation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:defaultCodeSpace>AdministrativeAreaCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="type" type="ksj:FishPortTypeCodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>種別</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="administratorType" type="ksj:FishPortAdminTypeCodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>管理者区分</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="administratorName" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>

```

```

    <xsd:documentation>管理者名</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="designatedDate" type="gml:TimeInstantPropertyType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>指定年月日</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="fisheriesCooperativeAssociations" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>關係漁業共同組合</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="boundaryLengthOfOutlyingFacility" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>外郭施設延長</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="mooringPierLength" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>係留施設延長</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="mooringQuayLength" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>係船岸壁延長</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="s53" type="ksj:StatisticsDataPropertyType" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>昭和53年</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="s54" type="ksj:StatisticsDataPropertyType" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>昭和54年</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>

```

```

</xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="s55" type="ksj:StatisticsDataPropertyType" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>昭和55年</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="s56" type="ksj:StatisticsDataPropertyType" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>昭和56年</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="s57" type="ksj:StatisticsDataPropertyType" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>昭和57年</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="s58" type="ksj:StatisticsDataPropertyType" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>昭和58年</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="s59" type="ksj:StatisticsDataPropertyType" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>昭和59年</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="s60" type="ksj:StatisticsDataPropertyType" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>昭和60年</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="s61" type="ksj:StatisticsDataPropertyType" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>昭和61年</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>

```

```

</xsd:element>
<xsd:element name="s62" type="ksj:StatisticsDataPropertyType" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>昭和62年</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="FishingPortPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:FishingPort" />
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="FishingPortMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:FishingPort" />
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:element name="FishingPortBoundary" type="ksj:FishingPortBoundaryType"
substitutionGroup="gml:AbstractFeature" />
<xsd:complexType name="FishingPortBoundaryType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>漁港区域界</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
      <xsd:sequence>

```

```

<xsd:element name="location" type="gml:CurvePropertyType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>場所</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="prefectureCode" type="gml:CodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>都道府県コード</xsd:documentation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:defaultCodeSpace>PrefectureCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="fishingPortCode" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>漁港コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="FishingPortBoundaryPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:FishingPortBoundary"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="FishingPortBoundaryMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:FishingPortBoundary"/>
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>

```

```

</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:element name="StatisticsData" type="ksj:StatisticsDataType"
substitutionGroup="gml:AbstractObject"/>
<xsd:complexType name="StatisticsDataType">
<xsd:sequence>
<xsd:element name="dateData" type="gml:TimeInstantPropertyType">
<xsd:annotation>
<xsd:documentation>データ年</xsd:documentation>
</xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="numberOfRegisterShip" type="xsd:integer">
<xsd:annotation>
<xsd:documentation>登録漁船隻数</xsd:documentation>
</xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="gainings" type="xsd:integer">
<xsd:annotation>
<xsd:documentation>水揚高</xsd:documentation>
</xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="populationOfFishingPort" type="xsd:integer">
<xsd:annotation>
<xsd:documentation>漁業地区人口</xsd:documentation>
</xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="StatisticsDataPropertyType">
<xsd:sequence>
<xsd:element ref="ksj:StatisticsData"/>
</xsd:sequence>
<xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:simpleType name="FishPortTypeCodeType">

```

```

<xsd:annotation>
  <xsd:documentation>漁港種別コード</xsd:documentation>
</xsd:annotation>
<xsd:union memberTypes="ksj:FishPortTypeCodeEnumType ksj:FishPortTypeCodeOtherType" />
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="FishPortTypeCodeEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="0">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>不明</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="1">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>第1種</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="2">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>第2種</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="3">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>第3種</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="4">

```

```

<xsd:annotation>
  <xsd:appinfo>
    <gml:description>第4種</gml:description>
  </xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="5">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>特定第3種</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="FishPortTypeCodeOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}" />
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="FishPortAdminTypeCodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>漁港管理者区分コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:union memberTypes="ksj:FishPortAdminTypeCodeEnumType
ksj:FishPortAdminTypeCodeOtherType" />
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="FishPortAdminTypeCodeEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="0">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>不明</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>

```

```

<xsd:enumeration value="1">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>都道府県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="2">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>市区町村</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="3">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>その他</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="FishPortAdminTypeCodeOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}" />
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
</xsd:schema>

```